

気流

まさに「命拾い」
だった。2012

年7月の九州北部

豪雨で社屋、機械

などの大半が浸水被害に遭つ

た福岡県柳川市の板金加工業

「ヤスナガ」は、その1カ月

前に損害保険に水災補償を追

加したばかりだった。福岡県

中小企業団体中央会の会報で

紹介されていた▼聞くと、取

引先から事業継続計画（BC

P）策定を求められ、更新し

たばかりの保険を確認したと

ころ、水害がカバーされてい
ない」とが判明したという。

「台風は頭にあつたけど、水害
までは考えていなかつた」と

安永修社長（58）▼同社は、損

害保険金1億7千万円を活用

して、被災からわずか2カ月

で復旧を果たした。資金的な

裏付けがあれば、復旧計画も

安心して進められる。そんな

復旧の経過を詳細に記録した

「水害復旧報告書」は同社の

ホームページで読める。災害

対策の貴重な教科書である。